

研究事業 衛星観測に関する研究事業(衛星観測センター)

委員会の主要意見
現状についての評価・質問等
<p>○GOSAT-2 のデータ公開や GOSAT-GW の準備などを通して、国際的なアウトリーチ活動が推進されていることを評価する。【年度】</p> <p>○衛星の打ち上げからデータ処理、その公開まで重要な課題が予定通り推進されている。こうした事業は国立研究所ならではの事業であり、継続的な事業継続をお願いしたい。【見込み】</p>
今後への期待など
<p>○GOSAT の並行運用に、継続している地上での観測データも加えて、Comprehensive な観測データ活用が実現していると判断する。精度の向上なども期待する。【年度】</p> <p>○GOSAT の並行活用による観測データが得られており、並行活用によるメリットを最大限享受した運用を期待する。並行運用期間に、次の研究の展開に繋ぐデータ・知見等が集積されること期待する。【見込み】</p>

主要意見に対する国環研の考え方
<p>① 衛星事業の国際的なアウトリーチ活動については今中長期において戦略的に進めているところでもあり、評価いただきありがとうございます。</p> <p>② 事業継続については、今後も所内／関係機関と調整を進めて参ります。今後数年間は3衛星プロジェクト同時進行になることも踏まえ、さらなる事業継続体制の強化に取り組む必要があると認識しています。</p> <p>③ 「Comprehensive な観測データ活用」については今までも取り組みを進めてきたところですが、来年度からはGOSAT、GOSAT-2の2衛星のデータ統合について、実データを使って試行することを予定しています。</p> <p>④ 2023年度のGOSAT-GW 打ち上げとGWによる新たな研究の展開を見据え、GOSAT/GOSAT-2 データを活用した研究を着実かつ戦略的に進めていきたいと考えています。</p>